

夏休みに1～2年生の皆さんに読書感想文を書いてもらいました。担任の先生が読まれて、その後、図書部でも検討し、以下の人たちの作品を応募しました。ご協力ありがとうございました。とても良い作品が多数提出されていました。少しずつ紹介していきたいと考えています。

播磨西高校支部コンクール応募作品

クラス 氏名	読んだ本のタイトル	著者名
1-1 大田絆稀君	夢をかなえるゾウ	水野敬也
2-3 池脇大翔君	余命10年	小坂流加
2-3 森脇絆君	天気の子	新海誠
2-2 平良勇誠君	同志少女よ敵を撃て	逢坂冬馬
2-1 中安勇翔君	生きる知恵	島田洋七
1-1 岸本惣太君	ラブカは静かに弓を持つ	安壇美緒

全国高校生読書体験記コンクール

2-3 宇治樹君	あと少し、もう少し	瀬尾まいこ
1-2 小河夕貴さん	スクラッチ	歌代朔
1-4 荒木蒼空君	きっときみに届くと信じて	吉富多美

前期の図書委員さんによるお勧め本の紹介です。また、8月～9月に新しく本が入りました。図書室に来て是非読んで下さい。☆マークは図書室にある本です。

☆		「告白」 湊かなえ 我が子を校内で亡くした女性教師が、終業式のHRである少年を指し示す。ひとつのモノログ形式で、「級友」「犯人」「犯人の家族」からそれぞれ語らせて、真相に迫る。たくさんの伏線が絡んでいて、とても面白い本です。 2年3組 O君
☆		「第二種電気工事士筆記問題」 今までやった第二種電気工事士の過去問が載っていて分かりやすい解説がある。第二種電気工事士を取得しようとしている人はぜひ、この本を参考にして合格につなげて下さい。私も読んで勉強しましたが、解説がとても分かりやすく、試験本番では、筆記で30問以上正解することができました。お薦めの本です。 2年3組 F君



ボクシングに通じた主人公 2 人の内容を、1 つの本は、アカ（暁）を主人公として書いた内容。もう 1 つの本は、シロ（月城四六）を主人公とした内容である。最終的に二人は、高校 2 年生でインターハイボクシング競技のバンタム級（52 kg ～ 56kg）の決勝で顔を合わせる。それまでの生い立ちをそれぞれ主人公にした内容を 2 冊の本にまとめ上げられている。大変面白かった。

試合や練習内容、コンディショニングの調整など、ややボクシングに精通していないと深い次元（ボクシング技術等）での理解は、難しいかも知れないが、二人の人間関係を上手くまとめられている。人が成長していく過程においては、様々な人間が関係していて、その根底にあるのは、お互いの友情である。

アカは、正義感が強く負けず嫌いの性格、シロは、おとなしく臆病者の性格。幼馴染であったが、ある時、公園で幼い児童がワルの集団でいじめられている現場に遭遇する。正義感の強いアカは、児童を助けるために、ワル集団に挑む。そこで、シロにも加担するように声掛けをするが、シロは、しり込みして傍観するだけ、アカはワル集団にぼこぼこに殴られる。このことから、「なぜ逃げた！」と友情の縁を切られ、シロは、自分の臆病な心を悔い、自分を責めるようになるが、アカも歯がゆい反面、憎み切れない優しい（シロ！、強くなれよ！）思いを抱いている。その後、アカの家庭の事情で、アカは、転校し、離島に引っ越しをする。

この関係から二人の物語が始まる。

最初と終わりの戦う場面は、同じではあるが、アカ、シロのそれぞれ周りの人間関係（家族、友人）から、二冊の本が、それぞれの主人公を中心に描いた物語が進行していく。その背景には、陰ながら二人それぞれにボクシング人生を応援する心暖かい女性の存在があるのである。

また二人がボクシングに目覚める同じ共通点として、二人に備わった人並外れたボクシングセンスを見抜いた指導者が存在する。それぞれが持つセンスが、試合を経験することで、研ぎ澄まされていく過程が、胸を打つ。そこには、その指導者から指導を受けた単純ではあるが、基礎練習をひた向きに取り組むことで大きく成長していくのである。

胸を打つ青春ドラマであると思います。エネルギーを貰いました。

エネルギー環境工学科 田中 晃



「スクラッチ」 歌代朔

私の中学生生活は、30 分の入学式とその後三か月の自宅待機から始まりました。この本の 5 ページ目には、「コロナふざけんなー！！」と怒る主人公のシーンがあります。コロナを経験した私は同感でした。バレー部部長の鈴音は三年間バレー命で練習をしてきた。しかし、市の総体が中止になり、自暴自棄になります。そんな時、近所の美術部部長のかずあきと下校途中に出会いました。彼もコロナの影響で市郡展の審査が中止になっていました。～ 続く～

1-2 O さん

	チェーンソーマン 菱川さかく著 チェーンソーのイメージは怖いから、怖い悪魔の話です。公安警察は悪魔と戦う。悪魔と契約して、悪魔の力を借りて、別の悪魔と戦う。チェーンソーマンは悪魔と契約したけれど、彼は主人公として、いい人を生きている。彼の考え方はぶっとんでいて。デンジは最初は貧乏で、お金に困っていたので、どんな仕事も引き受けていた。デビルハンターとして民間でも警察でも働いている。普通の生活をしたから、他の人の言いなりになっていたから、何が正しいかわからないまま、公安警察に利用されているふしもある。そんなデンジと友達のアドベンチャーのサイドストーリーです。面白かったので、漫画を一気に14冊読んだあとで、この小説を読んでいる。 トム先生
☆	食と農業未来への選択 松田純一 バナナは何億人もの食を支えているが、その裏には、戦争、内戦、米国企業による労働者の搾取などの問題があるという。TPP や EPA の貿易協定により、安価な農作物の輸入が増加している。 日本の食文化のレベルの高さはブランドパワーと言われるもので、娯楽の幅の広さなども相まって、旅行したい国のトップに来ている。また、日本の平均寿命は84歳で、これは世界1位である。日本食が長寿を支えているといえる。発酵食品である味噌、納豆などは、世界的にベジタリアンたちに、注目を浴びている。フランスでは日本の塩こうじ、ゆず、抹茶を使った食品の人気の高まっている。外国でも通用する品質の高いものは、他にもフルーツ、牛肉、花、コメ、酒、ウィスキーなどだ。これらの中には知的財産となるものもあり、日本は無償で解放しているものが多いが、情報を秘匿化すること、特許を申請することなどを考えるべきだ。岡山のシャインマスカットが中国で他社に商標出願された例がある。タイやベトナムでコメの銘柄をコシヒカリと偽装表示していた例もある。アグリテック、フードテックといわれる農業や食料のIT化を進めるべきだ、などが筆者の意見だ。将来的に食糧難の時代が来ると言われている今、お勧めの一冊です。